

# 事業報告書

自 平成21年4月 1日

至 平成22年3月31日

財団法人中東調査会

東京都新宿区西新宿7-3-1三光パークビル5F

電話 03-3371-5798

## 平成21年度事業報告書

## I 法人の概況

1 設立年月日 昭和35年（1960年）10月3日〔創立：昭和31年（1956年）2月〕

## 2 寄付行為に定める目的

当会は、中東（北アフリカを含む）諸国及びこれらの諸国と深く関係する諸国の政治経済の実態・現勢の総合的研究調査に従事するとともに、これら諸国について基礎的ならびに実務的知識の普及をはかり、もってこれらの諸国と日本との国交の増進、貿易の振興、文化の交流に寄与することを目的とする。

## 3 寄付行為に定める事業目的

- (1) 政治、経済、社会、風俗の基礎的研究調査
- (2) 上記の研究調査にもとづく資料の刊行
- (3) 現地紹介の講習会、講演会、展覧会など、現地知識の普及をはかる事業
- (4) 現地語学研修
- (5) 留学生の交換の助成
- (6) 日本紹介資料の作製
- (7) その他理事会において必要と認めた事業

## 4 所管管庁に関する事項

外務省中東アフリカ局中東第一課

## 5 会員の状況 (平成22年3月31日現在)

種類	当期末	前期末	前期末比増減
法人会員	84 法人	87 法人	-3 法人
個人特別会員	4 名	3 名	+1 名
個人普通会員	74 名	47 名	+27 名

## 6 事務所

東京都新宿区西新宿7丁目3番1号 三光パークビル5階

## 7 役員等に関する事項 (平成22年3月31日現在)

(1) 理事、監事等 理事、監事等の常勤・非常勤の別：全員が無給・非常勤である

役職	氏名	現職
会長	佐々木 幹夫	三菱商事株式会社取締役会長
理事長	有馬 龍夫	元日本国政府代表・前中東和平担当特使 (国家公務員出身者)
常任理事	川崎 弘	流動化・証券化協議会理事長 (国家公務員出身者・元通商産業省経済企画庁調整局長)
常任理事	塩尻 宏	元駐リビア大使 (国家公務員出身者)
常任理事	山内 昌之	東京大学大学院総合文化研究科教授
理事	阿部 謙	三井物産株式会社代表取締役副社長執行役員
理事	岡 素之	住友商事株式会社代表取締役会長
理事	岡部 聰	トヨタ自動車株式会社専務取締役
理事	香藤 繁常	昭和シェル石油株式会社代表取締役会長
理事	金井 義邦	三菱商事株式会社顧問
理事	茅田 泰三	株式会社小松製作所専務執行役員待遇中国総代表
理事	北村 文夫	日本アラブ協会理事
理事	木村 彌一	コスモ石油株式会社代表取締役社長
理事	後藤 明	東洋大学文学部史学科教授
理事	白川 進	東京電力株式会社取締役副社長 (国家公務員出身者・元通商産業省基礎産業局長)
理事	須藤 隆也	財団法人日本国際問題研究所 軍縮・不拡散促進センターシニアアドバイザー (国家公務員出身者・元駐エジプト大使)
理事	関 誠夫	千代田化工建設株式会社相談役
理事	高木 滋	本田技研工業株式会社専務取締役
理事	武井 利郎	株式会社IHI顧問

理事	天坊 昭彦	出光興産株式会社代表取締役会長
理事	目黒 孝敏	元駐バハレーン大使 (国家公務員出身者)
理事	森 詳介	関西電力株式会社取締役社長
理事	林 康夫	日本貿易振興機構(ジェトロ)理事長 (国家公務員出身者・元通産産業省中小企業庁長官)
理事	渡 文明	新日本石油株式会社代表取締役会長
監事	田中 達郎	株式会社三菱東京UFJ銀行副頭取
監事	星 彰	元駐スーダン大使 (国家公務員出身者)
顧問	服部 禮次郎	セイコーホールディングス株式会社名誉会長
参与	山本 三郎	前財団法人中東調査会事務局長

以上、理事24名、監事2名、顧問・参与各1名

(参考) 【寄付行為第14条】

1. 理事 9人以上36人以内、 監事2人
2. 理事のうち、1人を会長、2人を副会長、1人を理事長、8人以内を常任理事とする

【寄付行為第21条】

本会に顧問および参与若干を置くことができる

(2) 評議員

評議員の常勤・非常勤の別：全員が無給・非常勤である

氏名	現職
岡崎 久彦	岡崎研究所理事長・所長 (国家公務員出身者・元駐サウジアラビア大使)
恩田 宗	株式会社日建設計顧問 (国家公務員出身者・元駐サウジアラビア大使)
加藤 博	一橋大学大学院経済学研究科教授
黒川 剛	財団法人日独協会理事 (国家公務員出身者・元駐クウェイト大使)
黒田 壽郎	国際大学名誉教授
川合 紳二	丸紅株式会社常務執行役員
小杉 泰	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科教授
清水 紘一郎	株式会社ホテルオークラ特別顧問
住川 雅晴	株式会社日立プラントテクノロジー代表執行役執行役社長
武田 邦靖	AOCホールディングス株式会社取締役会長 (国家公務員出身者・元国土庁長官官房審議官)
田村 和久	アブダビ石油株式会社顧問
丹波 俊人	伊藤忠商事株式会社取締役副社長執行役員
永井 峻一	サウディ石油化学株式会社代表取締役社長
野口 雅昭	京都文教大学教授 (国家公務員出身者・元駐チュニジア大使)
八尾師 誠	東京外国語大学教授
久田 眞佐男	株式会社日立製作所執行役常務
三田 敏雄	中部電力株式会社代表取締役社長
鰐淵 和雄	元駐イエメン大使 (国家公務員出身者)

以上、評議員18名

(参考) 【寄付行為第14条】

3. 評議員 10人以上35人以内

8 職員に関する事項 (平成22年3月31日現在)

職員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
男子 3名	-1	56.3 歳	12年 2ヶ月
女子 4名	+1	35.8 歳	2年 8ヶ月
合計 又は平均 7名	0	46.0 歳	6年 8ヶ月

上記のうち、男子1名は週3日勤務である。

上記のほか、女子職員1名が育児休業中である。

## II 事業の状況

### 1 事業の実施状況

寄付行為に掲げる事業に関する当期における実施状況

- (1) 政治、経済、社会、風俗の基礎的研究調査
- (2) 上記の研究調査にもとづく資料の刊行
- (3) 現地紹介の講習会、講演会、展覧会など、現地知識の普及をはかる事業
- (4) 現地語学研修 (本年度は実施に至らなかった)
- (5) 留学生の交換の助成 (本年度は実施に至らなかった)
- (6) 日本紹介資料の作成 (本年度は実施に至らなかった)

### 2 役員会に関する事項

名称	開催年月日	議事事項等
(1) 第1回評議員会	平成21年 5月26日	①平成20年度事業報告及び決算承認 ②理事の一部交代 ③賛助会員の動向等
(2) 第1回理事会	平成21年 5月26日	①平成20年度事業報告及び決算承認 ②任期満了に伴う評議員の選出 ③賛助会員の動向等
(3) 第2回評議員会	平成21年12月21日	①平成22年度事業計画及び収支予算承認 ②賛助会員の動向 ③平成21年度収支見通し等
(4) 第2回理事会	平成21年12月21日	①平成22年度事業計画及び収支予算承認 ②賛助会員の動向 ③平成21年度収支見通し等

### 3 収支及び正味財産の状況並びに財産の状況の推移

単位：円

#### (1) 正味財産の状況並びに財産の状況の推移

	前々期 平成20年3月期	前期 平成21年3月期	当期 平成22年3月期	備考
資産合計	49,994,427	54,118,800	48,983,162	
負債合計	13,289,483	14,947,792	18,421,981	
正味財産	36,704,944	39,171,008	30,561,181	

#### (2) 収支の状況の推移

	前々期 平成20年3月期	前期 平成21年3月期	当期 平成22年3月期	備考
前期繰越 収支差額	31,057,445	33,464,211	31,572,420	
当期収入合計	80,322,309	72,858,037	80,496,913	
当期支出合計	77,915,543	74,749,828	83,334,616	
当期収支差額	2,406,766	-1,891,791	-2,837,703	
次期繰越 収支差額	33,464,211	31,572,420	28,734,717	

平成18年度から新公益法人会計基準を、平成21年度から新々公益法人会計基準を採用している。

## III 法人の課題

### 当法人の対処すべき課題

#### (1) 事業活動の質の向上

当会の目的である中東地域の日本にとっての重要性の高まりに応えるべく、当会の研究・調査活動の更なる質的向上を目指す必要がある。

#### (2) 活動基盤の充実化

当会の主たる活動基盤は賛助会員からの会費収入である。賛助会員、及び受託事業の拡大を目指すと共に、これら賛助会員並びに各関係先のニーズに沿ったアウトプットが可能となる事業活動を行いたい。

#### (3) 新公益法人への移行

平成20年12月から施行されている「新公益法人」制度の下で、現在、当会のステータスは「特例民法法人」となっている。今後、定められた期間内（施行後5年以内）に「新公益法人」の認定を受けるべく、申請準備作業に着手している。（内閣府大臣官房公益法人室・公益法人等認定委員会に対する、公益認定を電子申請で行なう手続きを終え、すでに申請書の入力作業実施中）

以上

別紙「事業の実施状況」添付

中東調査会は、調査・研究事業の結果を出版物、電子メール、講演会などの形式で会員向けのサービスと一般向けの広報活動を行っています。

## 1. 出版活動

### (1) 中東研究（季刊）

昭和 33 年 9 月に創刊された中東に関する研究論文、時事解説、資料等を掲載している中東総合専門誌。

### 第 504 号（2009/2010 Vol.I） 2009 年 6 月刊行

#### 目次

UAE 情勢:大使の見たままに	波多野 琢磨	3
ネタニヤフ政権誕生と中東和平の行方	鹿取 克章	6
オバマ政権の中東和平政策	三上 陽一	41
ヒズブツラー摘発事件 ーエジプトの対イラン政策と体制維持ー	鈴木 恵美	55
国際金融危機と GCC 諸国経済 ーイスラム金融の現状を中心にー	上山 一	69
トルコの EU 加盟交渉とクルド人権運動 ー外圧を利用した国内改革の推進例ー	平井 由貴子	80
パレスチナ難民問題と中東和平プロセス	立山 良司	111
<b>【中東を理解する為の書籍案内】</b>		
脇 祐三著 『中東激変』	山内 昌之	119
Jehan Sadat 著 <i>My Hope for Peace</i>	小早川 敏彦	122

## 第 505 号 (2009/2010 Vol. II) 2009 年 10 月刊行

### 目次

#### 【大使の見たままに】

サウジアラビア情勢	中村 滋	3
日本・チュニジア関係の今後の展望	遠藤 茂	7

#### 【特集:激動イランの行方 —第 10 期大統領選挙とその後の混迷】

法学者統治体制の「終わりの始まり」 —イラン・イスラーム共和国の変質	山内 昌之	12
第 10 期イラン大統領選挙とその結果をめぐる混乱	山崎 和美	19
<b>&lt;内政&gt;</b>		
内部からの体制変換へ —ハーメネイー最高指導者の選択とその帰結	松永 泰行	31
イスラーム革命防衛隊とは何か	佐藤 秀信	41
<b>&lt;社会&gt;</b>		
上昇する期待と厳しい現実 —イラン社会を支える若者の実像	桜井 啓子	59
大統領選挙期間中の期待と結果のギャップ —人々の抗議の背景にあるものは	アレズ・ ファクレジャハニ	69
イランにおける大衆運動への女性参加	山崎 和美	76
<b>&lt;国際関係&gt;</b>		
イランとロシア、コーカサスの国際関係 —最近の事例から	廣瀬 陽子	94
イランの核疑惑とイスラエルの過剰反応 —核疑惑をめぐる二つの脅威	中島 勇	112
イラン大統領選挙結果に対する湾岸アラブ諸国の反応	河井 明夫	122
イランとヨルダン・パレスチナとの関係 —ヨルダンの対ハマース政策を軸として	江崎 智絵	132
<b>【中東を理解する為の書籍案内】</b>		
David Ray Griffin 著 <i>Osama bin Laden DEAD OR ALIVE?</i>	小早川 敏彦	141

## 第 506 号 (2009/2010 Vol.Ⅲ) 2008 年 1 月

### 目次

#### 【特集：紛争地を読む ―くすぶる火種。新たな火種となるか？】

深刻化するパキスタンのテロ問題	広瀬 崇子	3
パキスタンとアフガニスタンの火種 ―連邦部族直轄地域について	山根 聡	11
タリバーン考 ―男女七歳にして席を同じゅうせず	高橋 博史	19
アフガニスタンの人道支援をめぐる現状と課題 ―NGOとしての視点から	高橋 清貴	30
トルコ外交の方向性 ―三つの「打開」によって何をめざすのか	内藤 正典	43
イラク国会選挙とその後の行方	大野 元裕	54
イスラーム過激派の声明から読む治安情勢の傾向 ―マグリブとソマリア	高岡 豊	62
アラビア半島の燃え盛る戦火とくすぶる火種	河井 明夫	71
パレスチナの内部対立と中東和平プロセス	江崎 智絵	79

#### 【焦点：中東若者事情】

シリアにおけるアニメ産業の発展	貫井 万里	89
イラン映画に見る女性と若者たち ―現状打破のための挑戦	山崎 和美	99

#### 【最近の動向】

2009 年クウェイト国民議会総選挙	平松 亜衣子	112
--------------------	--------	-----

#### 【中東を理解する為の書籍案内】

内田樹著 『私家版・ユダヤ文化論』	小早川 敏彦	120
パナレオン中央銀行著 今平和雄・渡部喜宏訳 『イスラム銀行とイスラム金融』		

目次

データ : 2009年中東各国動向

<湾岸・アラビア半島地域>

アフガニスタン	3
アラブ首長国連邦 UAE	13
イエメン	15
イラク	18
イラン	28
オマーン	56
カタール	58
クウェイト	62
サウジアラビア	65
バハレーン	69

<東地中海地域>

イスラエル	72
シリア	83
トルコ	87
パレスチナ	93
ヨルダン	100
レバノン	104

<北アフリカ地域>

アルジェリア	108
エジプト	110
スーダン	115
チュニジア	117
モロッコ	119
リビア	121

【中東を理解する為の書籍案内】

山内 昌之

ジョシュア・クーパー・ラモ 著、田村 義延 訳

『不連続変化の時代—想定外危機への適応戦略』	262
------------------------	-----

## (2) 中東かわら版

中東各国に関する時事問題や分析記事。毎号を電子メールで配信し、中東調査会ホームページにも掲載。平成 21 年度発行総数は 292 号。

### 国別発行例（2009 年 4 月 1 日－2010 年 3 月 31 日）

- ★アフガニスタン
  - ・アフガニスタン南部で大規模作戦開始（その 1）
  - ・アブドゥラー候補の大統領決選投票不参加
- ★UAE（アラブ首長国連邦）
  - ・新油田の発見
  - ・ドバイ・ワールド再構築への政府の介入発表への反応
- ★アルジェリア
  - ・マグレブ投資貿易銀行の創設
  - ・中国に対するテロの脅威
- ★イエメン
  - ・米旅客機爆破未遂事件とイエメンのアル・カーイダ
  - ・LNG 事業の見通し
- ★イスラエル
  - ・米国の新和平プロセス計画
  - ・ネタニヤフ首相による入植地建設一部凍結発表
- ★イラク
  - ・国会選挙の暫定結果と今後の見通し
  - ・石油・ガス法の審議動向、自動車直接輸入再開の動き
- ★イラン
  - ・シーア派最高権威モンタゼリー師の死去
  - ・第 10 期大統領選挙(2)
- ★エジプト
  - ・中東和平に関するエジプト・イスラエル大統領会談
  - ・エジプトによる国内のヒズボラ系集団の起訴
- ★オマーン
  - ・鉄道建設計画
  - ・カブース・オマーン国王のイラン公式訪問
- ★カタール
  - ・外国人雇用規則の制定
  - ・カタール証券取引所の設立と NYSE Euronext 社による出資
- ★クウェイト
  - ・ハーシミー・イラク副大統領の訪問
  - ・債務救済法案の可決
- ★サウジアラビア
  - ・第 9 次五ヵ年計画の概要
  - ・アブドゥラー国王科学技術大学の開校式典
- ★シリア
  - ・米国関係（対シリア経済制裁の一部解除）
  - ・米国の対シリア制裁延長
- ★スーダン
  - ・バシール・スーダン大統領のトルコ訪問中止
  - ・ダルフル情勢（エジプトの仲介努力）
- ★チュニジア
  - ・次期大統領選挙立候補者の確定
  - ・チュニジア中産階級の現状
- ★トルコ
  - ・トルコ・アルメニア両国国交正常化
  - ・ナブッコ・プロジェクト政府間合意の署名
- ★バハレーン
  - ・下院で禁酒法案が通過
  - ・イスラエル関係全面禁止法案の下院通過
- ★パレスチナ
  - ・アッバース PA 大統領の大統領選挙不出馬表明
  - ・ファタハ・ハマスの国民対話に向けた動き
- ★モロッコ
  - ・マグレブ・アル・カーイダの動向
  - ・国内シーア派に対する取締り強化に関して
- ★ヨルダン
  - ・オイル・シェイル
  - ・下院の解散
- ★リビア
  - ・アラブ連盟首脳会議
  - ・ロカビー事件服役囚の釈放・帰国
- ★レバノン
  - ・シリア・イラン・ヒズボラ三者会談の意義
  - ・イスラエルの対レバノン軍事行動の可能性
- ★ウズベキスタン
  - ・韓国企業によるレアメタル開発
- ★カザフスタン
  - ・石油輸出税の税率引き上げ
  - ・議会下院選挙の結果
- ★キルギス
  - ・2007 年度予算に関する財務相の発言
- ★グルジア
  - ・米海軍艦船の黒海派遣とトルコ政府の対応
- ★タジキスタン
  - ・経済特区創設構想

### (3) 中東トピックス、 中東分析レポート

2007年11月創刊、賛助会員(法人)担当役員及び特別個人会員に郵送。但し、発行の約1週間後に中東調査会ホームページにも掲載。

☆「中東トピックス」:各月の重要事項を中東調査会研究員が分析・評価したレポート。中東に関係する外務省人事、国際会議及び要人往来も紹介。毎月末発行。

☆「中東分析レポート」:中東の特定の問題に関し、外部執筆者または中東調査会研究員が詳細に分析したレポート。不定期発行(平成21年度は22号発行)。

#### 発行例 (2009年4月1日-2010年3月31日)

##### ☆「中東トピックス」

###### 2009年4月

- ・イスラエル新政権の中東和平政策
- ・パレスチナ国民和解会合の実施
- ・アルジェリア:ブーテフリカ大統領の3選
- ・イラン大統領と世界人種差別撤廃会議
- ・ヒズボラのエジプト進出計画

###### 2009年5月

- ・米国の対中東和平外交
- ・パレスチナ新内閣の発足とファタハの内部分裂
- ・クウェイト国会選挙と新内閣
- ・GCC通貨統合からのUAEの脱退
- ・イエメン内部騒擾

###### 2009年6月

- ・イラン:大統領選挙とその後の混乱
- ・中東和平を巡る二つの演説
- ・レバノン総選挙の実施と新内閣の組閣の行方

###### 2009年7月

- ・イラン:続く大統領選挙後の混迷
- ・イラク・クルド地域議会と大統領選挙
- ・イラクのマーリキー首相の訪米
- ・大統領選挙前のアフガニスタン治安状況
- ・ナブッコ天然ガスパイプライン建設事業のための政府間合意の締結

###### 2009年8月

- ・シリア・レバノン関係
- ・リビア:米国との包括的補償問題の合意
- ・グルジア情勢

###### 2009年9月

- ・イラン:閣僚承認、抗議デモ再燃/核交渉開始を前にイラン包囲網構築
- ・イスラエル・パレスチナ・米国3者首脳会談
- ・米国のアフガニスタン政策
- ・サウジ初の共学校「キングアブドゥラー科学技術大学」の開学
- ・バグダードでの連続爆破事件を契機にイラク・シリア関係が悪化

###### 2009年10月

- ・イラン情勢
- ・アフガニスタン情勢

- ・サウジ国王のシリア訪問
- ・中東和平:ゴールドストーン報告書を巡る関係者の反応
- ・トルコ:アルメニアとの国交正常化に向けた議定書へ調印

###### 2009年11月

- ・イラク選挙法制定を巡る揉め事と国会選挙延期の可能性
- ・イラン内政:米大使館占拠事件30周年記念日に実施された官製デモと改革派の抗議デモ
- ・イエメンにおける邦人拉致事件の発生
- ・パレスチナ:アッバース自治政府議長の議長選挙不出馬表明と議長・立法評議会選挙の延期

###### 2009年12月

- ・アフガニスタン:米国の新戦略発表
- ・日本・アラブ経済フォーラムと日本・イラク経済フォーラムの開催
- ・イラン:「学生の日」の大規模抗議デモとシーア派最高権威モンタゼリー師の死去
- ・クウェイトでのGCC首脳会合
- ・レバノン・ヨルダン:新内閣の発足
- ・ドバイ・ショックのその後

###### 2010年1月

- ・イラク中央銀行総裁の訪日
- ・アフガニスタンに関する国際会議と今後の展望
- ・イエメン安定化のためのロンドン国際会議

###### 2010年2月

- ・アッバース・パレスチナ自治政府大統領の訪日
- ・イラク:バアス党色排除を巡る国会選挙前の混迷
- ・アフガン南部で大規模作戦開始—今後のモデルとなる作戦—
- ・イエメン:ホウシー・グループとの停戦成立
- ・西側諸国による対イラン制裁強化の動きとイラン側の反応

###### 2010年3月

- ・ネタニヤフ首相の米国訪問
- ・シルテでアラブ連盟首脳会議が開会
- ・イラク国会選挙
- ・エジプト・アハラーム社主の講演会:報告

## ☆「中東分析レポート」

平成 21 年度発行総数は 22 号。

- 2009.04.15「パレスチナ挙国一致内閣の組閣に関する現状と展望」 江崎 智絵(中東調査会研究員)
- 2009.04.28「ヒズボラのエジプト進出計画」 鈴木 恵美(中東調査会客員研究員)
- 2009.04.30「スルターン皇太子の健康問題とナーフ第 2 副首相の任命」 河井明夫(中東調査会研究員)
- 2009.05.15「アブドゥラー・ヨルダン国王の政治姿勢と将来展望」 江崎 智絵(中東調査会研究員)
- 2009.06.02「イラン大統領選挙—展望と内外へのインパクト」 松永 泰行(東京外国語大学准教授)
- 2009.06.15「GCC 通貨統合からの UAE の脱退とその波紋」 河井 明夫(中東調査会研究員)
- 2009.06.17「第 10 期イラン大統領選挙:選挙結果をめぐる混乱の行方」 山崎 和美(中東調査会研究員)
- 2009.06.25「イラン大統領選挙結果及びその中長期的なインパクト」 松永 泰行(東京外国語大学准教授)
- 2009.07.01「イラン、激動の 3 週間:大統領選挙とその後の混迷」 山崎 和美(中東調査会研究員)
- 2009.07.09「米軍の都市部撤退と治安状況」 大野 元裕(中東調査会上席研究員)
- 2009.09.14「ハマスとファタハの動向にみるパレスチナの内政的課題」 江崎 智絵(中東調査会研究員)
- 2009.10.30「米国ユダヤ社会における新旧の親イスラエル勢力」 中島 勇(中東調査会研究員)
- 2009.10.30「米国の中東政策に関する諸見解の整理」 江崎 智絵(中東調査会研究員)
- 2010.01.07「イエメンに巣食う「アラビア半島アル・カーイダ」 河井 明夫(中東調査会研究員)
- 2010.02.12「西側諸国による対イラン制裁強化の動きとイラン側の反応」 山崎 和美(中東調査会研究員)
- 2010.02.19「イスラム革命記念日の衝突 —分断されるイラン民衆—」 山崎 和美(中東調査会研究員)
- 2010.02.19「中東和平プロセスをめぐる最近の動き」 江崎 智絵(中東調査会研究員)
- 2010.03.09「イエメン南部分離独立運動とアル・カーイダの脅威」河井 明夫(中東調査会研究員)
- 2010.03.15「過激派についてのイスラーム指導者の見解」河井 明夫(中東調査会研究員)
- 2010.03.18「イスラエル・パレスチナ間接和平交渉の展望」江崎 智絵(中東調査会研究員)
- 2010.03.18「緊張する米国・イスラエル関係の行方」中島 勇(中東調査会主席研究員)
- 2010.03.28「イラク選挙結果発表を受けて」大野 元裕(中東調査会上席研究員)

## 2. 広報活動

### (1) トップ・ミーティング（朝食会）

法人会員のトップクラスならびに特別個人会員を対象とした会合で、国際情勢等に関して外務省幹部他政府関係者・民間有識者と協議を行う。年10回程度開催。（以下敬称略）

1. 日 時：2009年4月10日（金）8:30-10:00 於）ホテルオークラ「エメラルドルーム」  
講 師：石田 徹（資源エネルギー庁長官）  
演 題：「最近のエネルギー事情と日本の対応（仮題）」
2. 日 時：2009年5月19日（火）8:30-10:00 於）ホテルオークラ「エメラルドルーム」  
講 師：脇 祐三（日本経済新聞社・論説副委員長）  
演 題：「世界経済危機と中東」
3. 日 時：2009年6月29日（月）8:30-10:00 於）ホテルオークラ「ケンジントンテラス」  
講 師：波多野 琢磨（前駐アラブ首長国連邦特命全権大使）  
演 題：「湾岸諸国のハブを目指すアラブ首長国連邦」
4. 日 時：2009年7月27日（月）8:30-10:00 於）ホテルオークラ「オークルーム」  
講 師：鈴木 敏郎（外務省中東アフリカ局長）  
演 題：「米国の新中東政策と日本の対応」
5. 日 時：2009年9月1日（木）8:30-10:00 於）ホテルオークラ「オークルーム」  
講 師：中村 滋（特命全権大使（国際貿易・経済担当）  
政府代表（湾岸協力理事会との自由貿易協定交渉担当））  
演 題：「サウジアラビア情勢」
6. 日 時：2009年10月8日（木）8:30-10:00 於）ホテルオークラ「オークルーム」  
講 師：吉川 元偉（外務省アフガニスタン担当大使）  
演 題：「大統領選挙後のアフガニスタンと日本の政策」
7. 日 時：2009年11月19日（木）8:30-10:00 於）ホテルオークラ「オークルーム」  
講 師：手嶋 龍一（元NHKワシントン支局長、ジャーナリスト）  
演 題：「最近の日本外交・米国外交などについて」
8. 日 時：2009年12月17日（木）8:30-10:00 於）ホテルオークラ「オークルーム」  
講 師：Dr. アブドウルアジーズ・トルキスターニ（駐日サウジアラビア大使）  
演 題：「サウジアラビア・日本関係の現状と展望」
9. 日 時：2010年1月26日（火）8:30-10:00 於）ホテルオークラ「エメラルドルーム」  
講 師：大野 元裕（中東調査会上席研究員）  
演 題：「イラク情勢等（オバマ大統領の対日中東政策含む）」
10. 日 時：2010年2月16日（火）8:30-10:00 於）ホテルオークラ「オークルーム」  
講 師：岡本 行夫（外交評論家・岡本アソシエイツ代表）  
演 題：「2010年代の世界：日米関係を中心に」

11. 日 時：2010年3月16日（火）8:30-10:00 於）ホテルオークラ「エメラルドルーム」  
講 師：藪中 三十二（外務事務次官）  
演 題：「2010年の日本外交」

## （２）講演会

中東地域の認識の深化や基本的知識を広めることを目的としており、会員の方以外でも参加できる講演会も積極的に開催している。（以下敬称略）

### （a）中東情勢ブリーフィング

#### <法人会員限定>

1. 日 時：2009年4月6日（月）18:30-20:00 於）日本記者クラブ  
講 師：三上 正裕（外務省中東アフリカ局中東第一課長）  
演 題：「パレスチナ情勢を中心にした最近の東地中海地域情勢と日本」
2. 日 時：2009年11月24日（火）18:30-20:00 於）日本記者クラブ  
講 師：森野 泰成（外務省中東アフリカ局中東第一課長）  
演 題：「最近の北アフリカ・東地中海情勢」

#### <会員＋一般向け>

3. 日 時：2010年2月17日（木）18:30-20:00 於）日本記者クラブ  
講 師：中川 勉（外務省中東アフリカ局中東第二課長）  
演 題：「最近の湾岸地域情勢と日本」

### （b）中東要人講演会（会員＋一般向け）

1. 日 時：2009年6月16日（火）14:00-15:30 於）FPC「コンファレンスルーム」  
講 師：ヌーリ・チョラックオール（ドアン出版ホールディング執行理事会役員）  
演 題：「最近のトルコ情勢」
2. 日 時：2009年12月4日（金）11:00-12:30 於）FPC「コンファレンスルーム」  
講 師：フセイン・バージュ（トルコ中東工科大学国際関係学科教授）  
演 題：「トルコ外交の現在と未来：中東和平、EU加盟、アルメニア問題を中心として」
3. 日 時：2009年12月9日（水）14:30-16:00 於）FPC「コンファレンスルーム」  
講 師：アブドラー・アブドルラザーク・ダルダリ（シリア経済担当副首相）  
演 題：「シリアを取り巻く政治・経済情勢」
4. 日 時：2010年1月20日（水）17:00-18:00 於）日本記者クラブ「宴会場」  
講 師：シナン・アル・シャビービ（イラク中央銀行総裁）  
演 題：「最近のイラク経済情勢」
5. 日 時：2010年2月9日（火）12:15-13:00 於）日本記者クラブ「宴会場」  
演 題：「中東和平の展望」  
講 師：マフムード・アッパース（パレスチナ自治政府大統領/PLO議長）

6. 日 時：2010年3月18日（木）14:00-15:30 於）FPC「コンファレンスルーム」  
講 師：アブデルモネム・サイード（エジプト・アハラーム社社主）  
演 題：「最近のエジプト情勢」

### (c) 研究員発表会（会員+一般向け）

#### 第三回中東調査会研究員発表会

- 日 時：2009年9月30日（水）14:00-16:00 於）FPC「コンファレンスルーム」  
発表者：①大野 元裕 上席研究員「最近のイラク内政（イランとの関係も含む）」  
②山崎 和美 研究員「大統領選挙後のイラン情勢」

#### 第四回中東調査会研究員発表会

- 日 時：2010年3月29日（月）14:00-16:00 於）FPC「コンファレンスルーム」  
発表者：①中島 勇 主席研究員「イスラエルのイラン攻撃の可能性をめぐる議論」  
②河井 明夫 研究員「イラク総選挙の結果と今後」  
③山崎 和美 研究員「大統領選挙後も続くイラン内政の混迷」

### (d) 中東・イスラーム理解講座（会員+一般向け）

#### 連続講座

#### 1. 「変容する国際社会におけるイラン—大統領選挙の混迷とその後」

- ① 日 時：2009年6月25日（木）18:15-20:00 於）AP西新宿「A室」  
講 師：佐藤 秀信（法務省・法務事務官）  
演 題：「イラン大統領選挙と革命防衛隊の世界観」
- ② 日 時：2009年7月9日（月）18:15-20:00 於）AP西新宿「A室」  
講 師：松永 泰行（東京外国語大学准教授）  
演 題：「大統領戦後のイランと米・イラン・イスラエル関係」 「A室」
- ③ 日 時：2009年7月23日（木）18:15-20:00 於）AP西新宿「A室」  
講 師：山崎 和美（中東調査会研究員）  
演 題：「女性とメディア：現状打破のための挑戦」
- ④ 日 時：2009年8月6日（木）18:15-20:00 於）AP西新宿「A室」  
講 師：中村 覚（神戸大学准教授）  
演 題：「地域政治・安全保障の観点からの検討」

#### 2. 「イスラーム運動の挑戦：現状と課題」

- ① 日 時：2009年10月30日（金）18:30-20:00 於）AP西新宿「A室」  
講 師：高岡 豊（中東調査会協力研究員、上智大学アジア文化研究所研究補助員）  
演 題：「レバノンヒズブラー化計画」
- ② 日 時：2009年11月13日（金）18:30-20:00 於）AP西新宿「A室」  
講 師：横田 貴之（国際問題研究所研究員）  
演 題：「エジプト・ムスリム同胞団の危機」

- ③ 日 時：2009年11月25日（水）18:30-20:00 於）AP西新宿「A室」  
 講 師：清水 学 （帝京大学経済学部教授）  
 演 題：「南アジア世界の中のアフガニスタン問題—カシミール・FATA・バローチスターンなど—」
- ④ 日 時：2009年12月4日（金）18:30-20:00 於）AP西新宿「A室」  
 講 師：見市 建 （岩手県立大学総合政策学部講師）  
 演 題：「インドネシアの政治とイスラーム—なぜイスラーム系政党は後退したのか—」

### (e) 意見交換会（法人・個人会員限定）

1. 日 時：2009年10月26日（月）11:30-12:30 於）中東調査会 会議室  
 報 告 者：カーメル・フメイド （西岸・エリコ県知事）  
 報告事項：「最近の西岸・エリコ地域情勢」
2. 日 時：2009年11月16日（月）14:00-15:30 於）中東調査会 会議室  
 報 告 者：アビ・イサハロフ （イスラエル・ハアレツ紙軍事・中東担当記者）  
 報告事項：「イスラエル内政と外交」
3. 日 時：2010年1月27日（水）14:00-15:00 於）中東調査会 会議室  
 報 告 者：ワヒード・フセイン・アワン （パキスタン・WAQT NEWS・ニュース時事問題部長）  
 報告事項：「パキスタン情勢」

### (f) 中東情勢検討会（法人・個人会員限定）

隔週水曜日の16:00-17:30に開催。平成21年度開催実績は22回

## (3) 中東大使を囲む会

年に一度、在中東大使が東京で一同に会す機会をとらえ、会員の方々と懇談していただく会

日 時：2009年12月18日（金）18:30-20:30 於）帝国ホテル東京「桜の間」

参加大使（国名 50音順 敬称略）

①アフガニスタン	廣木 重之	⑪クウェイト	武藤 正敏
②アラブ首長国連邦	渡邊 達郎	⑫サウジアラビア	遠藤 茂
③アルジェリア	神谷 武	⑬シリア	國枝 昌樹
④イエメン	敏蔭 正一	⑭チュニジア	多賀 敏行
⑤イスラエル	松田 邦紀（公使）	⑮トルコ	田中 信明
⑥イラク	高橋 克彦	⑯バハレーン	佐藤 英夫
⑦イラン	城田 安紀夫	⑰モロッコ	広瀬 晴子
⑧エジプト	石川 薫	⑱ヨルダン	塩口 哲朗
⑨オマーン	森元 誠二	⑲リビア	西ヶ廣 渉
⑩カタール	北爪 由紀夫	⑳レバノン	川上 公一

## (4) その他事業

### (a) イスラームとイスラーム諸国ー「理論と動向研究会」(会員+一般向け)

(共催：財団法人中東調査会、社団法人日本イスラム協会)

1. 日 時：2009年4月28日(火) 18:15-20:00 於) 宇和島興産株式会社・貸会議室(新宿区)  
講 師：宮武 志郎 (普連土学園教諭)  
演 題：「オスマン帝国のズィンミー・ユダヤ教徒を中心に」
2. 日 時：2009年7月1日(水) 18:15-20:00 於) AP 西新宿「A室」  
講 師：森本 一夫 (東京大学准教授)  
演 題：「ムハンマド一族から見たイスラーム教」

### (b) シンポジウム「新生イラクが中東で果たす新たな役割と、日本のパートナーシップ」(会員+一般向け)

(共催：財団法人中東調査会、独立行政法人国際交流基金、後援：外務省)

日 時：2009年6月19日(金) 10:00-11:30 於) 日本記者クラブ「ホール」  
基調講演：ホシヤル・ズィーバーリー (イラク外務大臣)  
モデレーター：大野 元裕 (中東調査会上席研究員)  
パネリスト：出川 展恒 (NHK 解説委員)  
畑中 美樹 (財団法人国際開発センターエネルギー・環境室研究顧問)

### (c) 国際情勢講演会「中東を知るセミナー」(会員+一般向け)

(主催：財団法人中東調査会・財団法人札幌国際プラザ、共催：外務省)

日 時：2009年6月26日(金) 14:00-16:00 於) 札幌国際プラザ「コンベンションホール」  
講 師：①長山 佳子 (外務省国際情報統括官組織第四国際情報官室・課長補佐)  
②小林 和香子 (早稲田大学大学院アジア太平洋研究科国際関係学専攻博士課程)  
演 題：①「民族、人種、宗教のるつぼー湾岸地域の社会問題と女性たち」  
②「民族、人種、宗教のるつぼーパレスチナの社会問題と女性たち」

## (d) 中東有識者ラウンドテーブル

(共催：財団法人中東調査会、外務省)

中東各国の代表的な知識人を招聘し、中東地域の諸問題に関心を有する日本の有識者と幅広く意見交換を行うことにより、同地域の諸課題についての認識と理解を共有し、日本の政治的・社会的な貢献の在り方を検討する。併せて、日本の対中東政策についての中東知識人の理解を深めることを目的とした会議。

日 時：2010年3月16日(火) 10:30-16:30 於) ザ・プリンスパークタワー東京「いちょう」

議 長：有馬 龍夫(財団法人中東調査会理事長)

出席者：(中東側)

- ① アブデルモナム・サイド(エジプト・アハラーム社社主)、
- ② ファハド・アルスルタン(サウジアラビア国民対話センター事務次長)
- ③ ワリード・シナム(駐日パレスチナ常駐総代表)

出席者：(日本側)

- ① 浦野 義頼(早稲田大学中東総合研究所長)
- ② 内藤 正典(一橋大学大学院社会学研究科教授)
- ③ 田中 浩一郎(日本エネルギー経済研究所中東研究センター長)

オブザーバー：

- 鈴木 敏郎(外務省中東アフリカ局長)
- 森野 泰成(外務省中東アフリカ局中東第一課長)

## 3. 受託業務

当会は、政府、民間より研究・調査プロジェクトの委託を受け実施しています。平成21年度の受託業務案件は下記の通りでした。

1. テロ組織・テロリスト等に関する調査(データベース作成)
2. アフガニスタン及び周辺地域情勢分析セミナー

## 4. 資料センター

1. 中東要人データを修正、加筆、チェックしたものを再入力
2. 1985年から継続中の「中東クロノロジー」をはじめとする中東各国データを迅速に提供できる体制を構築
3. 中東のDaily Newsを毎週3回程度、電子メールにて会員に提供
4. ホームページ(<http://www.meij.or.jp/>)を開設し、広く中東関連情報を提供
5. 「中東・北アフリカ年鑑データベース」を平成21年12月から運用中

以上